

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の 利用目的及び 利用方法	●研究の名称 多発性骨髄腫に対する自家移植後維持療法の有効性と安全性に関する後方視的研究
	●研究の対象 2010 年 1 月以降に浜松医科大学、浜松医療センター、磐田市立総合病院で多発性骨髄腫に対して自家移植の治療を受けた方 60 名
	●研究の目的 多発性骨髄腫の治療として、65～70 歳以下の若年の患者さんでは、化学療法後に自家末梢血幹細胞移植（自家移植）を行う方法が標準的な治療とされています。最近では、自家移植後に維持療法を行うことでより治療効果を高めたり、再発を遅らせたり、生存期間を延長することが海外から報告されています。日本でもこれらの情報をもとに維持療法がおこなわれることがあります。その有効性や安全性については十分に確立されていません。 このため、静岡県西部地区で 2010 年以降に自家移植を受けた多発性骨髄腫の患者さんを対象に、維持療法の有無により治療の奏効率や生存期間、再発率、副作用の発生率などに差があるかどうかを、診療録や既存の検査データを振り返ってデータを収集し解析することで、自家移植後の維持療法の有用性、安全性を確認し、どのような患者さんに維持療法を行う必要があるかをはっきりさせることが本研究の目的です。
	●研究の期間 研究機関の長による実施承認日から 2025 年 12 月まで
	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ情報を提供しません。
利用し、又は	●研究に使用する試料・情報

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

提供 する 試料・情報の項目	情報：病歴、治療歴、検査データ、副作用等の発生状況 等
利用 する 者の範囲	●機関名および責任者名 浜松医科大学 内科学第三講座 永田泰之 浜松医療センター 血液内科 内藤健助 磐田市立総合病院 血液内科 深津有佑
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	浜松医科大学 内科学第三講座 永田泰之
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)	あなたの情報を研究に使用することや、あなたの情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 内科学第三講座 担当者： 永田泰之

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

TEL : 053-435-2267

E-mail : yasu@hama-med.ac.jp